

大專各連令6第8号

2024年4月2日

設置者・代表者 様

人権教育推進委員 様

(一社) 大阪府専修学校各種学校連合会

理事長 清水 尚道

(公印省略)

入試面接のあり方について(お願い)

平素は、人権教育の推進並びに本会の活動にご協力いただきありがとうございます。

さて、入試面接選考において本人の能力、適性、意欲、関心と直接関係がない家族構成等に関する質問は、差別的な選考につながる恐れのある内容に当たります。

会員校におかれましては、面接選考における質問内容等を十分に検討の上、面接選考を実施されますようお願いいたします。

なお、適正な面接選考に向けた資料を簡単にまとめましたのでご参考にしてください。

入試面接のあり方について

1. 面接の目的と意義

①学科試験や個人報告書(調査書)などの資料の総合評価

・受験生の適性、能力は学科試験や個人報告書(調査書)などの資料によって判断材料を得ることはできますが、それらは部分的なデータにすぎません。面接は質問に対する受験生の受け答えや反応の仕方も考慮に入れて評価をします。

②お互いの情報交換

・受験生の志望の動機を聞いたり、出身校での活動状況を聞いたりする一方で、逆に受験校側から学習面の厳しさなどの方針を伝えるなど、お互いに意思の疎通を図りながら情報交換をします。

③適性・能力の判定

・受験生の適性、能力は、学科試験や個人報告書(調査書)などでは判定できない側面を持っています。たとえば、会話を通じて質問の意図や内容をとらえる力(理解力・判断力)や相手に伝えたいことを的確に表現する力(表現力)を知ることによって、受験生の適性や能力を判断します。

2. 面接の準備

①基本的な質問項目を事前に用意しておく。

②面接資料(出願書類・学科試験の結果等)を整理しておく。

③面接評価基準を統一しておく。

④面接担当者には適格な人を選定し、複数で行うようにする。

⑤面接結果が同じ条件で評価されるように、評価方法を決めておく。

⑥公正な面接のあり方について打合せ・研修を行う。

3. 面接時の留意点

①試験会場の内外を問わず、受験生の人格を尊重し、安心して気持ちよく面接を受けられるような配慮が必要です。

②試験会場や待合室は、受験生の気分が落ち着くような雰囲気になるよう、配慮が必要です。

③面接担当者は、受験生に心理的な動揺や、精神的な負担を与えるような言動は慎む必要があります。

受験生は極度の緊張感に包まれており、自己主張できない場合があります。そういうとき面接担当者は気分を和らげ、普段のときと同じ状態で気楽に発言できるよう気配りをするのが大切です。

また、受験生個人の責任に属さない事項については絶対に質問しないでください。

4. 質問内容

質問については、面接の目的や基準を明確に照らして、基本的人権の尊重ということに十分配慮しながら、あらかじめ統一的に定めておくことが大切です。

①適切な質問項目

a. 導入質問

面接に当たり、受験生の緊張感をほぐすため、受験生が答えやすい身近な問題から質問を始めます。いわゆるウォーミングアップの時間としてとらえるものです。

〈具体例〉

- ・お待たせしました、どうぞ椅子に掛けてください。お名前は〇〇さんですね。
- ・早朝からご苦労様でした、今朝は、何時頃に起きましたか。
- ・昨夜はよく眠れましたか。試験の夢などは見ませんでしたか。
- ・待っている間、どんなことを考えていましたか。
- ・学科試験は難しかったですか。

b. 本質問 1

受験生の適性、能力を判断するための質問ですが、学校(学科・コース等)を配慮して決めてください。学校をどの程度理解しての受験か、また受験生本人の適性、能力と結びつけて受験したものであるかについて判断します。

〈具体例〉

- ・本校に対して、どんな印象を持っていますか。
- ・あなたが、本校への受験を希望したのは、どんな理由からですか。
- ・受験に際し、多少本校のことを調べてみましたか。
- ・本校で、どんなことを学びたいと思っていますか。

c. 本質問 2

回答の内容や様子(考え方)から、受験生の適性および修学についての意欲(自信)などを判断します。

〈具体例〉

- ・自分の得意とする学科(科目)は何ですか。
- ・あなたの長所、特技、資格、人に負けない事などについて、自己PRをしてください。
(特技・資格がある場合は、種類、取得時期について質問する。)
- ・どんなことに努力したり、苦心したりしますか。
- ・これから力を入れてやってみたいことは何ですか。

d. 結び

最後に、気持ちを張り続けている受験生の心を察して、労をねぎらう言葉がほしいものです。

〈具体例〉

- ・こちらからお尋ねすることは以上ですが、何か質問等はありませんか。
 - ・いろいろ聞かせていただいてありがとうございました。それでは、これで終わりにします。
 - ・合否の結果は、〇月〇日ごろまでに発表します。ご苦労様でした。
- *このような質問を行いながら、受験生の理解力、表現力、行動力等を判断していくこととなりますが、主観的に判断するのではなく、あくまで公正で客観的に判断していただくようお願いいたします。

②差別につながる質問内容

- ・本籍
 - ・生い立ち(生まれ育ったところ)
 - ・家族の学歴、職業、役職、収入
 - ・家庭環境
 - ・家庭の資産
 - ・住居とその環境
 - ・家族関係(家族構成)
 - ・思想、生活信条・宗教
 - ・尊敬する人物
 - ・支持政党、加入団体
- *これらのことは、「聞かない」、「書かせない」、「調べない」、ようにしてください。

5. 個人情報の取り扱いについて

※入試選考時における次の個人情報の収集は認められません。

- ・人種、民族、社会的身分、門地、本籍、出生地、その他の社会的差別の原因の恐れのある事項。(家族の職業、収入、本人の資産等情報)(容姿、スリーサイズ等の差別的評価につながる情報)
- ・思想及び信条(人生観、生活信条、支持政党、購読新聞・雑誌、愛読書)